

職員リレーエッセイ

「恐怖の時期」

介護支援センターなごみ 介護支援専門員 津田恵理子

最近、恐怖を味わったことがありますか？私は、自宅の目の前が公園で、手軽に子供達を公園に連れて行けるととても良い環境です。ある時期を除いては……。

この公園で3月頃からカラスが、せっせと産卵のため巣造りを始めます。ご近所では巣造りのためにハンガーを持っていかれた被害も聞きますが、うちは一度もありません。4～6月雛が巣立つまでの間、毎朝「カアカア」とものすごく大きな声で、鳴き飛びまわりながら威嚇が始まります。子供の同級生が目の前で襲われたり、近所のお年寄りが襲われるのを何度か目にしたので、区の土木事務所に巣の駆除を依頼しましたが、「鳥獣保護管理法に触れるため駆除できない、巣に近づかない、カラスを刺激しないで下さい。」と言われました。



後日、公園横の道路にゴミ出しに行った時、低空飛行しながらカラスが一羽、私の頭上を飛び後方の塀にとまりました。人間の本能ですよね、ものすごい恐怖を感じたその時、塀から飛んだと思うと私の方に向かって来ました！両足で頭を鷲掴みにされました。「ヒ～～!!!」カラスの足は想像以上に大きく、爪が突き刺さる感じで、振り払うのも怖くて一目散に自宅にダッシュ。カラスはすぐに離れ、頭にくっついたままではなかったけれど、逃げ込んだ自転車置き場の入り口にある柵にとまり、私に向かって「カー！」と追い打ちをかけてきました。怖い、本当に怖い、怖すぎる。近づいてない、刺激してないのに襲われたのは、駆除依頼したのが分かったのでしょうか？それ以来カラス恐怖症。巣がある木を蹴飛ばし、白いタオルを振り回しながらカラスを威嚇するおじさんもいる中、私は小心者なので、自転車置き場の出入り口が公園側にあるのですが、怖くてそこから出られず、自転車通勤の私は公園側でないエントランスの方へ抜け回避しています。

あー、また今年も恐怖の時期が近づいてくる……

次のエッセイはニコニコデイサービス鶴里 介護職員 青砥さんに繋がります。